



熱中症対策

左2人目から：みわ由美県議、藤本真人さん、加藤英雄県議、
浅野ふみ子県議、丸山慎一県議

生活に苦しい方が エアコンを我慢して 亡くならないように



知事に支援を申し入れました

熱中症で命を奪われる方が後を絶ちません。厚労省「人口動態統計」によれば、千葉県では2023年に40人が亡くなっています。

物価高騰の中、生活に困窮している高齢者や、ひとり親家庭などがエアコンの使用を我慢して、熱中症で落命するようなことはあってはなりません。

日本共産党千葉県議団と、同県委員会は6月26日、知事に所得の低い方への支援を申し入れました。応対した健康福祉部長は「要望は受け止める」としつつ「(生活保護利用の) エアコン設置費の基準緩和を国に要請している」「社会福祉協議会の生活福祉資金(貸付)も利用できる」などと答え、独自対策は拒みました。すでにエアコン設置などへの直接助成に踏み出している自治体もあり、災害級の猛暑で急を要します。国に求めるだけでなく、命を守るために直ちに県は支援すべき、と重ねて訴えました。

申し入れ事項

- ◆自己負担することなくエアコン購入、設置ができるようにすること。
- ◆電気代を助成すること。



←
申し入れ全文

日本共産党千葉県議会だより
2025年7月1日号 ☎043(223)2544

日本共産党 Japanese Communist Party